小野市議会だより

Ono city assembly

2013 5 No.156

県警ヘリ「ひよどり号」と記念撮影

交通安全キャンペーン

中番小学校

第384回 3月定例会

一般質問

- 河島三奈（かわしまみな）
- 山本悟朗（やまもとごろう）
- 藤原章（ふじわらあきら）
- 山中修己（やまなかおさみ）
- 川名善三（かわなよしぞう）
- 松井精史（まついまさし）
- 中井澄夫（なかいすみお）
- 髙坂純子（たかさかじゅんこ）
- 竹内修（たけうちおさむ）

議会傍聴

3月定例会 150人
〔24年度累計 380人〕

3月定例会－主な内容－

こんなことが決まりました……2～4
一般質問の発言者 ……5
一般質問の内容について ……6～10
政務調査費の収支報告 ……10
常任委員会の審査報告 ……11
予算特別委員会の審査報告 ……12～13
小野市議会議員政治倫理条例の制定連合審査会の開催 ……13
2月臨時会の結果 ……14
会派行政視察報告 ……15
議会の動き ……16

第156号 平成25年5月1日
編集発行／小野市議会 小野市王子町806-1 TEL.0794-63-1006 FAX.0794-63-4108 http://www.ono-sigikai.jp/

3月定例会 こんなことが決まりました。

3月定例会は、2月27日から3月27日までの29日間開催しました。平成25年度当初予算をはじめ、平成24年度の補正予算や条例制定などを含む議案30件を原案のとおり可決しました。

制定・改正された条例

小野市福祉給付制度適正化条例の制定について（反対討論あり）

生活保護制度、児童扶養手当制度によって支給される金銭を、偽りその他不正な手段によって受給することを防止するとともに、正式に給付された金銭についても、給付の目的である生活の維持、安定向上のために役立てず、パチンコ、競輪、競馬その他のギャンブルに使ってしまうケースを地域社会と一体となって防止し、福祉給付制度の適正化に寄与する取組のために制定しようとするもの。

具体的には、福祉給付制度適正化協議会、福祉給付制度適正化推進員を設け、受給者の健全な生活の確保と自立のための相談、指導、指示等の体制を構築しようとするもの。

小野市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定並びに指定地域密着型サービス事業及び指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について

地域主権一括法（第1次及び第2次）により、「指定地域密着型サービス事業者」及び「指定地域密着型介護予防サービス事業者」の指定に関して、申請者を法人とする基準を条例上明記するとともに、「指定地域密着型サービス事業」及び「指定地域密着型介護予防サービス事業」に係る従業者の員数に関する基準、設備及び運営に関する基準を条例で定める必要があるため、制定しようとするもの。

これらの基準は、省令の基準をもってその基準とするが、地域密着型介護老人福祉施設入所者の居室定員を2人から4人に緩和することや介護報酬返還請求（5年）の行使に対応できるように、従業者の勤務記録等の保存期間を2年から5年とする等の5項目についての独自基準を導入しようとするもの。

小野市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

現在、東南アジアを中心に家禽類の間で高病原性インフルエンザが発生し、人に感染した場合、高い致死率で死亡する例が報告されている。そこで、平成24年4月に「新型インフルエンザ等対策特別措置法」が成立した。

同法第34条の規定により「新型インフルエンザ等緊急事態宣言がなされたときは、市町村長は市町村行動計画に定めるところにより、直ちに市町村対策本部を設置しなければならない」とされていることから、当該対策本部に関する事項を定めるための条例を制定しようとするもの。

小野市清掃事業施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

小野市一般廃棄物最終処分場（大谷池）の管理運営は、現在、市の直営管理であるが、平成25年4月1日から住民サービスの向上と経費の節減を図るため、同処分場について指定管理者制度を導入するため、条例上に使用許可の基準を明記し、指定管理者による管理者権限の範囲を定めようとするもの。

小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

国民健康保険運営事業について平成21年度に基金をほぼ全額取り崩し、平成23年度に税率改正を行ったものの、年々増加する医療費負担や後期高齢者支援金の負担増により税率を改正しようとするもの。具体的な税率改正は左記の表のとおり。

（単位:%,円）

	医療分		後期高齢者支援分		介護分	
	改正前	改正後	改正前	改正後	改正前	改正後
所得割	6.25	7.10	2.19	2.50	2.04	2.30
資産割	7.50	同左	1.50	同左	1.50	同左
均等割	22,500	25,000	7,500	8,000	8,800	9,000
平等割	21,500	23,000	6,200	7,000	5,000	6,000
限度額	510,000	同左	140,000	同左	120,000	同左

小野市立ひまわり園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本条例中に引用されている「障害者自立支援法施行規則」の名称が、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行規則」に改正されたことによる整備を行おうとするもの。

主な議案

兵庫県市町村職員退職手当組合規約の変更について

兵庫県市町村職員退職手当組合を構成する一部事務組合のうち、宍粟市及び姫路市で構成する「宍粟環境事務組合」の解散による平成25年3月31日付けでの脱退と、平成25年4月1日付けで相生市、たつの市、宍粟市、太子町及び佐用町で構成する「西はりま消防組合」の新設に伴う同退職手当組合への加入に伴う規約改正を行おうとするもの。

小野市一般廃棄物最終処分場の管理に係る指定管理者の指定について

小野市一般廃棄物最終処分場に係る指定管理者の指定を行おうとするもの。

〈指定先〉
尼崎市金楽寺町二丁目2番33号
株式会社タクマテクノス西日本支社
支社長　小堀　雅介

〈指定期間〉
平成25年4月1日から平成28年3月31日まで

小野市道路線の認定について

1　**市道1743号線**　L＝185.0m　黒川町
区画整理事業に伴う道路整備によるもの。

2　**市道5336号線**　L＝90.16m　中島町
市道5231号線の路線が変更され、従前市道5231号線の一部であったものを別路線として市道認定するもの。

3　**市道6355号線**　L＝1,547.0m　中谷町
従前県道であったものを市道に移管替するもの。

小野市道路線の変更及び廃止について

〈変更する路線〉

1　**市道5005号線**　L＝556.88m　王子町
市道改良工事により路線を延伸する変更認定を行うもの。
延伸距離　L＝78.70m

2　**市道5231号線**　L＝130.40m　中島町
路線の一部変更による変更認定を行うもの。なお、変更前の一部の路線は、市道5336号線として新規認定
路線変更により△37.22m

3　**市道6305号線**　L＝1,922.31m　小田町
市道の一部を県道に移管するもの。
路線移管により△1,134.66m

〈廃止する路線〉

1　**市道6317号線**　曽根町
市道6317号線のすべてを県道に移管するもの。
路線移管により△683.07m

播磨内陸医務事業組合からの脱退について

播磨内陸医務事業組合からの脱退について、改正された地方自治法第286条の2第1項の規定に基づき、脱退する日の2年前までに他の全ての構成団体に書面で予告するために、議会の議決を得ようとするもの。

（仮称）小野市防災センター建築工事請負契約について

契約の相手方
姫路市辻井1丁目1番23号
株式会社赤鹿建設
代表取締役　赤鹿　竜夫
契約金額
5億9,535万円

（仮称）小野市防災センター電気設備工事請負契約について

契約の相手方
姫路市保城981番地の1
西部電気建設株式会社　姫路支店
支店長　松村　隆好
契約金額
5億3,749万5,000円

議員提出議案

小野市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

地方自治法の一部改正に伴い、委員の選任方法や在任期間等に関する規定については、条例で定めることとなったため、当該条例の一部を改正する必要があるため。

小野市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について

地方自治法の一部改正に伴い、政務調査費を政務活動費に改め、政務活動費を充てることができる経費の範囲を条例で定めることとなったため、当該条例の一部を改正する必要があるため。

小野市議会議員政治倫理条例の制定について

議員が市民の厳粛な負託を受けたものであることを深く認識し、その負託に全力で応えるため、議員の政治倫理基準を定めるとともに、これに反する疑いがあるときの審査の請求方法や審査会の設置、議会の措置等を定めることにより、より一層の政治倫理の確立に寄与するため。

補正予算関係議案

今回の補正は、北播磨総合医療センター企業団出資金や新都市中央線整備事業に係る繰越明許費の補正のほか、総合体育館のトイレ改修（オストメイト、おむつ替え台の設置）や幼稚園のクラス増に対応するための備品等の整備、各事業の決算見込みによる減額などの補正を行おうとするものです。

平成24年度小野市一般会計補正予算（第5号）

補正額　648,000千円　減額
補正後総額　23,737,500千円

平成24年度小野市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

補正額　10,000千円　減額
補正後総額　5,853,000千円

平成24年度小野市介護保険特別会計補正予算（第2号）

補正額　1,200千円　追加
補正後総額　3,346,500千円

平成24年度小野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

補正額　7,900千円　追加
補正後総額　435,900千円

平成24年度小野市水道事業会計補正予算（第1号）

収益的収入
補正額　38,000千円減額
補正後総額　1,152,000千円

収益的支出
補正額　65,000千円減額
補正後総額　1,125,000千円

資本的収入
補正額　65,000千円減額
補正後総額　299,000千円

資本的支出
補正額　130,000千円減額
補正後総額　600,000千円

平成24年度小野市下水道事業会計補正予算（第1号）

収益的収入
補正額　19,000千円減額
補正後総額　1,282,000千円

収益的支出
補正額　9,000千円減額
補正後総額　1,500,000千円

資本的収入
補正額　79,000千円減額
補正後総額　1,126,000千円

資本的支出
補正額　82,000千円減額
補正後総額　1,543,000千円

平成25年度当初予算関係

平成25年度会計別予算総額

安全・安心な暮らしの確保、高度で良好な生活圏の形成、子育て・教育環境の充実、魅力・活力ある地域づくりに重点を置いた、平成25年度当初予算が上程され、予算特別委員会で付託審査の後、本会議で可決されました。

（単位:千円）

会計別		平成25年度
一般会計		19,820,000
特別会計	国民健康保険	5,986,000
	介護保険	3,414,000
	後期高齢者医療	441,000
	小計	9,841,000
企業会計	都市開発事業	33,800
	病院事業	2,348,800
	水道事業	2,067,000
	下水道事業	3,021,000
	小計	7,470,600
合計		37,131,600

※予算特別委員会で、議員から出された意見や指摘・要望等は、12ページに詳しく掲載しています。

平成25年 3月定例会

（はじめての給食。全部食べるよ。）

（一般質問は発言した議員が編集しました）

市議会HP内の「ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧いただけます。

HPアドレス:http://www.ono-sigikai.jp/

一般質問発言者

河島三奈議員
- 市民満足度調査について
- 節電対策について
- 神戸電鉄粟生線への支援について
- 今後の図書館の運営について

山本悟朗議員
- 播磨内陸医務事業組合からの脱退について
- 身体障害者等用駐車場の利用状況について
- 議案第17号　小野市福祉給付制度適正化条例の制定について

藤原　章議員
- 生活保護制度見直しについて
- 市民病院の現状と対応について
- シルバー人材センターについて
- 議案第17号　小野市福祉給付制度適正化条例の制定について

山中修己議員
- 地方公務員給与削減について
- 高齢者移動手段について
- 河合配水池等改修計画について

川名善三議員
- 平成25年度小野市長施政方針について
- 議案第3号　平成25年度小野市一般会計予算について
- 議案第21号　小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

松井精史議員
- 公金の適正管理及び資金運用について
- 消防署南分署について

中井澄夫議員
- 教育現場等における体罰について
- 公害について

高坂純子議員
- 通学路の危険箇所の整備について
- 学校の運動会行事について
- 神戸電鉄粟生線について

竹内　修議員
- 市営住宅の整備計画について
- 地域の元気臨時交付金事業について

改革クラブ　河島三奈議員

質問　市民満足度調査について

答弁　社会情勢が急激に変化する中で市民意識も同様に常に変化しており、市民満足度向上のために市民意識を絶えず把握しておくことは不可欠なことであるが、現在の広聴システムで対応できると考えている。調査については、総合計画の見直し等の節目において実施してゆく。（市当局）

質問　節電対策・新電力への振り分けについて

答弁　昨年から検討を始め、効果額を確認したところ、試算上では年額200～300万円程度となった。しかし、料金の算定方法や対象施設が事業者により異なること。またコスト要因が国の政策により左右され不安定で、後年度についても継続的に同様の効果が出るかが不透明であること。さらに今後の安定供給も確実には見通せない状況であることなどを総合的に判断し、現段階では振り分けについては行わないことにしている。（市当局）

質問　今年度の神戸電鉄への支援額について

答弁　対前年度比0.7％減を乗じた平成24年度の目標額は95億6100万円余りだが、実際の旅客運輸収入は、その0.7％を下回る1.1％減の95億円余りで、不足額は6100万円の見込み。その不足額を三木市と小野市で補填することになるので、小野市の支援額は約2400万円程度になる見込みである。（市当局）

質問　今後の図書館の運営について

答弁　コスト、サービスなどの向上を念頭に置き、民間委託の場合のメリット・デメリットを調査・研究し、それをもとに検討会議で協議を重ねた結果、現時点では民間委託をしても特筆するべきメリットが見当たらない為、市直営継続が望ましいという結果になった。（市当局）

市民クラブ　山本悟朗議員

播磨内陸医務事業組合からの脱退について

質問　播磨内陸医務事業組合からの脱退について、今後の影響を問う。

答弁　小野市民が播磨看護専門学校への進学を希望する場合には、推薦入学枠と入学金において、これまでとは異なった扱いとなるが、卒業後の進路には影響はなく、これまでとの大きな差は発生しないと考えています。（市当局）

身体障害者等用駐車場の利用状況について

質問　身体障害者等用駐車場の利用について、適正な運営をはかるための施策を問う。

答弁　対象となる駐車区画の適正な利用には多くの方々の理解とモラルが不可欠であり、適切な利用が促進されるよう県とも連携して、啓発活動に取り組んでいきます。（市当局）

小野市福祉給付制度適正化条例の制定について

質問　議案第17号、小野市福祉給付制度適正化条例について、各条文の内容と意義を問う。

答弁　「生活保護費でのギャンブル禁止条例・市民による受給者の監視」などと、条例の本旨に合わない報道が一部でなされておりますが、この条例をもって何らかの行政処分を課すというものではありません。

市民の皆様に通報をお願いするのは、不正受給を防止するとともに、受給者の自立支援の早期実現をはかり、保護を必要とする方について支援を開始する為の「見守り」をお願いするものです。（市長）

日本共産党　藤原　章　議員

生活保護制度見直しについて

質問 生活保護制度の見直しが言われていますが。小野市民への影響はどうなるのか尋ねます。

答弁 地域区分による影響、経過措置など、市で把握できる状況には至っていません。（市当局）

市民病院の現状と対応について

質問 市民病院の医師が大量に退職されますが、退職の主な理由、診療体制、入院への対応、夜間、休日の救急体制、今後の対策を尋ねます。

答弁 退職の理由は大学医局の人事異動や自己都合です。慰留に努めましたが5月以降は18名になります。外来は今までどおりですが、入院は109床に減ります。夜間救急は内科はお受けできません。引き続き医師確保に努めます。（市当局）

小野市福祉給付制度適正化条例について

質問 本条例制定には反対です。当然「不正受給」も「浪費で生活破たん」もいけません。しかし「条例制定」は受給者に精神的重圧を与え、憲法25条の精神に否定的影響を与えかねません。しかも第5条で市民に「情報提供」を定めていることは、受給者に対する「監視」「通報」を奨励することになると危惧します。そこで受給者の気持ちをどう思うか、申請・受給抑制にならないか尋ねます。

答弁 この条例は「肩身の狭さ感」をやがて払しょくし、「生活保護を受ける権利」と安心した生活が確保できる一つの試金石になると考えています。また第5条第2項により漏給防止に努め、相談体制の強化も図ることから申請・受給抑制になるとは考えていません。（市当局）

市民クラブ　山中修己　議員

公務員給与削減について

質問 政府から地方公務員給与を国家公務員並に削減する要請がきているが、小野市は蓬莱市政発足以来少数精鋭で成果を出してきており、この度は据え置くべきと思うがいかがか。

答弁 この要請は平成25年限りの臨時的な措置であり、国が給与削減したから、地方も当然削減すべきとの考え方にたっていますが、小野市においては、これまで行財政の厳しい中、国以上の人件費削減に取り組み、実績をあげてきています。具体的には平成11年から一般行政職員数107人、28・2%の減、総人件費では累計で67・5億円の削減をしており、その財源を、中学生までの医療費完全無料化、学校の校舎耐震化100%、教室の空調設備設置などの市民サービスの向上に投入してきました。今後、国県、他の自治体の動向を見極め、市として自己決定、自己責任の考えにたち、しかるべき時期に自らの責任ある決断を行いたいと考えています。（市長）

高齢者の移動手段について

答弁 らんらんバスは、子どもや高齢者の通学、買い物、通院などの移動手段として、平成16年に運行開始し、10年目を迎えました。当初の3台から現在5台体制で、10万人の利用者数を見込むまでになっています。今後共、福祉施策として、市内全域を網羅し、引き続き、きめ細かいルート見直しを行い、より利便性を充実させていきます。（市当局）

河合配水池等改修計画について

答弁 平成25、26年に基本計画、詳細設計を行い、27年度から2カ年で整備工事を進めます。内容は紫外線処理、配水池整備及び耐震化を備えた施設で、予算は約6億円と試算しています。（市当局）

公明党
川名善三議員

小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

質問 改定に至る経緯について

答弁 制度の構造的な課題を含め、医療費の伸びと税などの収入面において、著しくバランスを欠く状態が続き、大半の自治体で、大変厳しい事業運営に直面している。近隣市では、各市ともここ数年の間に、三度以上の税額の引き上げを実施されてきたが、本市では、国民健康保険事業基金の活用などにより、平成16年の税額改定以降、基礎課税分の引き上げを見合わせてきた。しかし、平成21年度において事業基金のほぼ全額を取り崩したことから平成23年度に七年ぶりの税額改定を実施させて頂いた。平成23年度以降は事業の健全化に鋭意取り組んだが、これら積極的な経費削減策をしても年1.5％程度の医療費の継続的な増加、後期高齢者医療費、介護保険給付費の増大に対する負担金が毎年1千万円程度の規模で増加し続けてきた。一方で税収額は、経済不況の長期化や失業、定年による無就労者の加入により、減少傾向が続くなど医療費や負担金の伸びに対応できない収支状況が続いている。これらのことから、平成25年度から26年度の二年間の医療費などを予測し、一般会計からの法定外繰入の増額を図った上で、なお不足する部分を被保険者の方々に負担願うこととした次第であり、この状況を本市の国民健康保険運営協議会に諮問させて頂き、全員一致で了承する旨の答申を賜った。（市当局）

平成25年度一般会計予算について

質問 通学路安全対策強化事業1千万円の具体的内容について

答弁 ①小野東小学校の西側と南側の市道の路肩カラー化、及び一部道路の拡幅、②市場小学校南側、保育園との間の市道の全面カラー舗装を予定している。（市当局）

研政クラブ
松井精史議員

公金の適正管理及び資金運用について

質問 公金の適正管理体制について

答弁 現金を取り扱っている部署では、公金の管理業務についてのフローチャートや公金管理配置図を作成し、確認チェックシートをもとに、各課長などがその責任において、適正管理を行っており、市全体としてのチェックシステムが機能している。事故・不正を起こさせないシステムの構築が重要であり、今後もこれらを継続実施する。（市当局）

質問 資金の運用形態と運用方針について

答弁 3会計の25年2月末現在の運用形態は、定期預金82億3千万円、債券4億円、繰替運用・貸付金21億1千万円、決済用預金1千万円の合計107億5千万円であります。資金運用については、安全を第一に6人の委員で構成する「小野市資金運用会議」において協議し市長決裁に得て運用している。（市当局）

消防署南分署について

質問 消防署南分署の成果について

答弁 育ヶ丘町及び小野ニュータウンにおける救急対応をはじめ、山陽自動車道における救急救助事案及び、匠台の工業団地における危険施設等の火災など、小野南地区での各種災害等に対して、現場到着時間の短縮及び初動体制の確立ができ、被害の軽減に結び付けられた。（市当局）

質問 下東条地区、河合地区にも救急体制を。

答弁 救急車を配置する必要性は十分に理解できる。今後の人口減少社会と市の財政状況を中長期的に考え戦略をしっかり立てた上で計画すべきであり、今後の検討課題としたい。（市長）

中井澄夫議員

教育現場等における体罰について

質問 教育現場等における体罰について問う。

答弁 指導者の過剰な熱意、あるいは勝利至上主義による体罰や行き過ぎた指導も、数年前に一部見られましたが、市内各部活動の顧問から構成される中学校体育連盟において、指導方法の見直しがなされ、「体罰なき部活動」を目指すことを確認、共通理解されました。その後、目立った体罰による指導は報告されておりません。

文部科学省による体罰の調査がありましたが、この調査は、平成24年度に起きた体罰事案について、小学生は保護者が、中学生については生徒本人が答えることとなっております。今回の調査で市内において体罰を受けたと答えているのは、全部で16件あり、うち7件が中学校の部活動中に発生した事案であります。例えば、部活動中に飴をなめていた時、安全上練習してはいけない場所で練習しているのを注意した時、あるいはプレー中の競技態度が悪く注意した時などに、平手で頭を叩いた、肩のあたりを叩いたなどであります。（教育長）

体罰については「起こさせない、見逃さない」の仕組みづくりが重要で個々の意識改革に尽きる。今後も組織として情報の共有化を行い、根絶に向けて努力したい。（市長）

公害について

質問 昨年度における公害及び苦情と復井町にある養鶏場の悪臭等対策について問う。

答弁 公害と認定した事案はありませんが、24年度の2月末現在の苦情は、騒音は3件、悪臭は4件、水質汚濁は3件でありました。復井町の養鶏場の悪臭については、苦情があれば現地調査及び立入り等を実施し、実態把握と共に事業者に対し、改善措置等行政指導を行います。（市当局）

市民クラブ　髙坂純子議員

通学路の危険箇所の整備について

質問 小野東小学校通学路市道1335号線と1336号線の交差点は、全児童の85%が横断して正門へ向かうが、特に危険であるので横断歩道があれば安全と思われるが考えを問う。

答弁 交差点周辺に歩行者溜まりを確保すると共に、交差点から小野東小学校校門側の北側及び東側へ、路肩のカラー化を計画する。改良後には横断歩道が設置される予定である。（市当局）

質問 西環状線整備は過去の経緯もあり現在に至っているが、通学路の危険箇所としての拡張計画について問う。

答弁 事業費削減の検討として両側歩道の案から片側歩道の案に変更したが、沿道地権者のご理解とご協力が得られなければ実施する事は困難な事業であり、地元の後押しもお願いしたい。（市当局）

学校の運動会行事について

質問 春季運動会へ今後移行していく予定なのか問う。

答弁 5月は熱中症予防もでき、身体的疲労が少ない。自然学校を2学期に変更し、平成26年度には全ての小学校で春季開催となる。（市当局）

神戸電鉄粟生線について

質問 粟生線カムバック制度（通勤定期転換補助制度）での利用増加について問う。

答弁 670万人まで落ち込んだ年間利用者数を700万人に回復させる為20万人の増加を目指す。（市当局）

質問 粟生線サポーターズくらぶの入会者数増加への展望について問う。

答弁 沿線自治会や企業などへの入会促進活動、新聞広告PR、イベント等での呼びかけなど積極的なPR活動を行い増やしていきたい。（市当局）

公明党
竹内　修議員

市営住宅の建て替えについて

質問 市営住宅の長寿命化及び建て替えの時期について伺う。

答弁 策定中の「市営住宅長寿命化計画」案では、新田、丸山、中町、広渡の四団地は、維持管理及び個別改善を行い、長寿命化を図ります。また、老朽化した浄谷、福住、河合中団地等の13団地は、平成27年度から段階的に「浄谷団地用地内」などに集約し建て替える計画としています。（市当局・市長）

国の緊急経済対策について

質問 1点目、連立与党が打ち出した「国土強靭化施策」また「防災、減災ニューディール」と呼ばれる緊急経済対策の影響を伺う。

答弁 2月12日の第383回市議会臨時会で決定した補正予算は、国の「地域の元気臨時交付金」を財源にしており、対象工事は17事業です。お尋ねの「緊急経済対策」により11億円の負担軽減が図られます。

また、大半の事業を市内業者に発注することで、大きな経済効果があるものと思われます。

いずれにしても市の財政、市内経済、市民生活にプラスになるよう早期に執行いたします。（市当局）

質問 2点目、「地域の元気臨時交付金事業」は、災害時に重要な拠点となる小野東小学校校舎と体育館の建て替えにも使われるが、他に校区住民にどう役立つのか伺う。

答弁 校舎では危険な渡り廊下を撤去し、3階部分に多目的室を設けて地域に開放いたします。

体育館は面積を広げ、2階に、PTAや地域の方が利用できる会議室を設置する予定です。（市当局）

平成24年度 政務調査費収支報告

会派に対する政務調査費一人あたり年間24万円交付　（単位:円）

		市民クラブ	改革クラブ	公明党	研政クラブ	中井澄夫	藤原　章	髙坂純子
		7名	3名	2名	2名	1名	1名	1名
収入	支給額	1,660,000	720,000	480,000	480,000	240,000	240,000	20,000
支出	研究研修費		34,200					
	調査旅費	539,706	518,783	154,194	257,107	79,530		
	資料作成費	17,400	6,657					
	資料購入費	164,095		31,500			38,715	
	広報費						10,000	
	広聴費							
	計	721,201	559,640	185,694	257,107	79,530	48,715	0
差引額		938,799	160,360	294,306	222,893	160,470	191,285	20,000

※差引額がある会派は、その額を市に返還しています。
※髙坂純子議員の政務調査費は、５月分から市民クラブで支給しています。

常任委員会審査報告

3月定例会の提出議案について、常任委員会に審査を付託されたのは、議案第17号から議案第29号までの13議案で、3月13日に民生地域常任委員会を、3月25日には総務文教及び民生地域の各常任委員会をそれぞれ開催しました。各常任委員会に審査を付託された議案及び審査結果は次のとおりです。

≪各常任委員会に付託された議案≫

◎民生地域常任委員会◎

3月13日開催

議案第28号　(仮称)小野市防災センター建築工事請負契約について

議案第29号　(仮称)小野市防災センター電気設備工事請負契約について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。

◎総務文教常任委員会◎

3月25日開催

議案第23号　兵庫県市町村職員退職手当組合規約の変更について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。

◎民生地域常任委員会◎

3月25日開催

議案第17号　小野市福祉給付制度適正化条例の制定について

議案第18号　小野市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定並びに指定地域密着型サービス事業及び指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について

議案第19号　小野市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

議案第20号　小野市清掃事業施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第21号　小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第22号　小野市立ひまわり園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第24号　小野市一般廃棄物最終処分場の管理に係る指定管理者の指定について

議案第25号　小野市道路線の認定について

議案第26号　小野市道路線の変更及び廃止について

議案第27号　播磨内陸医務事業組合からの脱退について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。

予算特別委員会意見

予算総額 371億円

平成25年度の小野市予算が、3月定例会に提出されました。
これを受け議会は、全議員による予算特別委員会を設置して、3月14日、18日、21日に予算審査を実施しました。新年度予算編成にあたって、市長施政方針に掲げられた「ゼロベースの発想で、新たな変革と創造」にどのようにチャレンジされるのか、そして厳しい財政状況が続いている中で、市政をどのように運営されるのかなど、多くの意見が出されました。
予算特別委員会が各部局へ要望した意見は下記のとおりです。

付託議案（8件）

議案第３号	平成25年度小野市一般会計予算
議案第４号	平成25年度小野市国民健康保険特別会計予算
議案第５号	平成25年度小野市介護保険特別会計予算
議案第６号	平成25年度小野市後期高齢者医療特別会計予算
議案第７号	平成25年度小野市都市開発事業会計予算
議案第８号	平成25年度小野市病院事業会計予算
議案第９号	平成25年度小野市水道事業会計予算
議案第10号	平成25年度小野市下水道事業会計予算

総務部

◎平成25年度に40周年を迎えるリンゼイ市との姉妹都市連携事業について、経済発展の著しいアジア諸国などの市との姉妹都市提携についても検討されたい。

◎高齢者等地域活動拠点づくり事業は、平成23年度から公民館や自治会館等を活用し、地域が主体的に取り組む高齢者や子ども等の居場所づくりに対する支援で、これまで38拠点を整備されているが、今後とも高齢者コミュニティの醸成等のため、積極的な事業実施に取り組まれたい。

市民安全部

◎防犯灯の設置については、地元自治会からの要望によりこれまでから鋭意取り組まれているが、今後通学路等の安全安心を図るために、高照度の防犯灯の設置について検討されたい。

地域振興部

◎産業フェスティバルについて、北播磨を代表するようなイベントとなるように、今後特産品の出品や販売等については、これまで以上に充実するよう取り組まれたい。

市民病院

◎入院収益等病院事業収益について、計画されている予定額を確保されるよう努められたい。

水道部

◎加古川上流浄化センターの上部利用施設である芝生広場について、市民の利用促進を図るために、これまで以上に広報啓発に取り組まれたい。

消防本部

◎消防及び救急活動用資機材の購入費を予算措置されているが、現場での消防職員の安全のため、十分な装備の確保に努められたい。

教育委員会

◎平成24年度からコミセンごとに学習活動を中心とした寺子屋事業を、小学生を対象に実施されているが、地域住民が指導者になることにより、三世代交流や地域の絆が醸成されるものと考えられ、事業の拡充に努められたい。

予算特別委員会

平成25年度 予算 重点項目

- 安全・安心な暮らしの確保
- 高度で良好な生活圏の形成
- 子育て・教育環境の充実
- 魅力・活力ある地域づくり

小野市議会議員政治倫理条例を制定

市議会では、議員自らが今後の議会改革にどう取り組むべきか、会派代表者会や議会運営委員会等で様々な検討を行った結果、議員の姿勢を市民のみなさんに見える形で示すために、議員の政治倫理等に関して定めた条例を３月定例会で制定しました。

≪条例の内容≫

1　議員が遵守するべき政治倫理基準【第3条】
６項目にわたって規定

2　審査の請求方法【第4条】
政治倫理基準に反する疑いがあると認められる議員があるときは、市民又は議員は審査の請求ができる。

3　政治倫理審査会の設置等【第5条～第13条】
有効な審査の請求があったときに、議員及び学識経験者で政治倫理審査会を組織する。政治倫理基準に反し、重大な責任があると認めるときは、議長に報告する審査報告書に、議員辞職等の勧告を明記することができる。

4　議会の措置【第16条】
議会は、政治倫理審査会から報告を受けた事項を尊重し、必要と認める措置を講ずる。

≪施行期日≫　平成25年4月1日

連合審査会を開催

市議会では、３月定例会に上程され、多くのみなさんから意見が寄せられるなど、全国から注目された議案第17号「小野市福祉給付制度適正化条例の制定」について、常任委員会の枠を超えて全議員が参加する連合審査会を開催して、より慎重に審査を行いました。

連合審査会では、当局からの議案説明を受け、その内容について詳細な質疑を行いました。また、各議員が調査してきた市民、民生委員などのこの条例に対する声を全議員で共有するとともに、条例制定後の影響や、全国から寄せられた懸念を表明する意見書並びに報道機関等の記事内容についても、議員間で討論を行い、議論を深めました。

1　開催日時　3月15日（金）13:30～16:40

2　開催場所　市役所５階第２委員会室

3　内　　容
（1）議案の説明
（2）質疑
（3）議員間の意見交換

2月臨時会 こんなことが決まりました。

緊急議案「平成24年度小野市一般会計補正予算（第4号）」及び「平成24年度小野市下水道事業会計補正予算（第１号）」を審査するため、2月12日に市議会臨時会を開催し、各常任委員会に審査を付託した後、本会議において原案のとおり可決しました。今回の補正は、「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を柱とする国の大型補正予算に呼応して、新年度に計画していた21件の事業を前倒しして、長期デフレからの脱却と地域経済の活性化、そして社会インフラ整備に係る市の実質負担額の大幅な圧縮を目指すものです。

平成24年度一般会計2月補正予算概要

（単位:千円）

内　容	担当課	事業費
市民交流ホール整備事業 大規模な会議、式典等の開催に対応するための施設（エクラの機能強化）	総合政策部	362,500
下東条地域交流施設整備事業 下東条地区の新たな観光交流・地域コミュニティの拠点施設	産業課	100,000
農村総合整備事業 農村総合ひまわりの里小野Ⅱ期事業。農業用水施設、暗渠排水、農道等の整備	産業課	50,500
県営ため池改修事業負担金 県営ため池改修にかかる負担金　（谷口池、沢田池）	産業課	11,550
震災対策農業水利施設整備事業 ため池の耐震診断（6箇所）及び各ため池のハザードマップの作成	産業課	36,000
新都市中央線整備事業 国道175号市場東交差点から工業団地へつながる新都市中央線の整備	道路河川課	140,000
市道215号線整備事業 新県道神戸加東線（H25年度末供用）のアクセス道路を整備	道路河川課	27,000
市道1741号線整備事業 黒川西区画整理事業に伴い、市道への接続部分の舗装整備	道路河川課	450
市道1031号線整備事業 黒川町JAガソリンスタンド前～はなみずき街道までの歩道及び道路舗装リニューアル工事	道路河川課	47,000
一般道路整備事業 道路舗装修繕（一般道路舗装修繕　8箇所）	道路河川課	200,000
一般道路整備事業 道路舗装調査（道路照明、大型標識、歩道橋等の安全点検）	道路河川課	6,000
橋梁整備事業費 橋梁長寿命化修繕計画（平成23年度策定）に基づき、遊舟橋ほか計5箇所の橋梁改修	道路河川課	20,000
黒川西土地区画整理事業 区画整理面積:約1.7ha。事業期間:平成22年度～平成26年度	まちづくり課	40,000
中心市街地まちづくり整備事業 小野高校前～旧三木宍粟線交差点に係る道路舗装と歩道の整備	まちづくり課	28,800
大池総合公園整備事業 大池総合公園トイレ改修及び避難所対応化、駐車場等整備	まちづくり課	50,000
大池総合公園整備事業 大池総合公園テニスコートのフェンス、人工芝の張替	体育保健課	51,700
シビックゾーン整備事業 ソロ池そばへの商業施設誘致に伴い、修景を含めた空間演出のための噴水施設（3基）を整備	産業課	15,000
大池水辺広場整備事業 大池総合公園東側あずま屋周辺の整備。フェンス、園路、植栽等	まちづくり課	10,000
施設営繕費 市営住宅、新田団地、中町団地のエレベータの耐震化安全対策	まちづくり課	6,000
農業集落排水事業負担金 農業集落排水施設（ピュア小田）の老朽箇所の改修工事。下水道事業に伴う負担金	財政課	20,000
小野東小学校校舎整備事業 H23予算をH24年度へ繰り越して整備中。H25年度で残り半分を整備。8月完成予定	教育総務課	620,000
小野東小学校体育館整備事業 小野東小学校体育館の改築事業。校舎の大規模改造事業にあわせ老朽化した体育館を改築	教育総務課	300,000
学校等空調設備整備事業 小・中学校の空調設備未設置教室及び保健室、職員室の老朽空調設備の更新。28箇所	教育総務課	67,500
公共施設整備基金積立金	財政課	200,000

一般会計補正予算総額　24億1千万円

市民クラブ・公明党合同視察報告

（市民クラブ）	（公明党）
藤本修造、岡嶋正昭、前田光教、小林千津子、髙坂純子、山本悟朗、山中修己	川名善三、竹内　修

（1）1月30日（水）福岡県大野城市「高齢者移動支援事業」について

大野城市南地域は坂が多いことから、高齢者の移動が問題になってきた。この地域は西鉄バス（路線バス）があり、コミバスを走らすことができないため（他地域はコミバスが運行）、市に車を購入してもらい、路線バスが走ってないところを運行することになった。平成21年4月から高齢者移動支援「ふれあい号」が、官民一体事業として実施された。

〈課　題〉大きな車で細い道（路線バスの通っていない道）を通るので、事故が心配とのこと。

〈感　想〉地域がよくまとまっており、南コミュニティ会長のリーダーシップがよくとれているように感じた。南地域住民自らが立ち上がり、実施するという市民力・地域力に感服しました。小野市においても、「市民力」が「新社会資本」として確固たる歩みを始められるよう、挑戦していきたいものです。

（2）1月31日（木）福岡県久留米市「B級グルメの聖地（まち）久留米事業」について

JR新幹線久留米駅を下車すると、ジャンボタイヤが正面にドーンと据えられている。流石、ブリヂストンタイヤ発祥の地である。久留米市は、とんこつラーメン発祥「久留米ラーメン」で、人口当たりの店舗数が日本一である。また、バラエティに富んだネタの「久留米焼き鳥」、ねばり腰が魅力の「筑後うどん」の「三大B級グルメ」として、この度、「B－1グランプリin久留米」の開催を機に、「B級グルメの聖地（まち）久留米」を宣言されています。

〈感　想〉ここでも市民力・地域力を感じた。英知と勇気と情熱をもって、「B級グルメの聖地（まち）久留米」をされているのは素晴らしい。B－1グランプリを脱退し、筑後川沿いで行われる18,000発の花火大会、久留米出身の観光大使の認定、「くるめ食の八十八ヵ所巡礼の旅」など、次の一手に取り掛かっておられるところなどは、まさしく市民力・地域力を感じる。食を通じてのまちづくり、人が集い、協働の場があり、単なるイベントではなく、進化するB級グルメとして、今後の動向も見据え、参考にしたいところです。

（3）2月1日（金）沖縄県宜野湾市「オリジナル健康体操「美ら（チュラ）がんじゅう体操」事業」について

宜野湾市は1964年（昭和39年）に「健康都市宣言」をしており、その頃から「健康」に関して重点的に取り組んでいる。男性の30代～50代は２人に１人、女性の３人に１人が肥満とのことで、頷ける内容である。目標を健康寿命の延伸と生活の質の向上においており、その施策の中心になっているのが、オリジナル体操「美らがんじゅう体操」である。5,000人の市民に普及しているが、成果の検証はまだできていないとのことである。

〈感　想〉運動指導士２名の指導の下、全員「美ら（チュラ）がんじゅう体操」を実体験した。DVDの登場人物が市民中心で、非常に親しみやすく、市民への配布を通じ、より体操が身近なものとして捉えられている。小野市の「らくらく体操」のようなゆったりした動きの体操である。DVDは希望者に無料で配布しており、多く普及している要因か。小野市のオリジナル体操の普及には、希望者への無料配布と何らかの義務付けが必要かと思われる。

◎議会の動き◎

【2月】
4日 北播磨総合医療センター企業団議員協議会(三木市)
5日 全国市議会議長会市議会議員共済会代議員会(東京)
〃 長崎県雲仙市行政視察(来市)
6日 議会運営委員会
7日 全国市議会議長会基地協議会(東京)
9日 小野市スポーツ賞表彰式
11日 神戸合成㈱創立50周年記念式典
12日 臨時議会
〃 総務文教・民生地域常任委員会
〃 議員協議会
〃 播磨内陸医務事業組合議会(加東市)
13日 愛知県扶桑町・岩倉市行政視察(来市)
13日~15日 改革クラブ・研政クラブ行政視察
(出水市・いちき串木野市・日置市)
14日 兵庫県市議会議長会総会(神戸市)
15日 北播政経懇話会(西脇市)
18日 民生地域常任委員会研修会
〃 北播磨総合医療センター企業団議会(三木市)
19日 北播衛生事務組合議会(加東市)
〃 北播磨こども発達支援センター事務組合議会(加東市)
20日 議会運営委員会
〃 市議会報編集委員会
21日 総務文教常任委員会研修会
22日 民生地域常任委員会研修会
〃 議員協議会
26日 小野加東広域事務組合議会
27日 3月定例会(第1日)
28日 小野加東環境施設事務組合議会

【3月】
1日 環境審議会
5日 播磨看護専門学校卒業式
11日 3月定例会(第2日)
〃 議会運営委員会
12日 中学校卒業式
13日 3月定例会(第3日)
〃 民生地域常任委員会
14日 予算特別委員会(第1日)
15日 特別支援学校卒業式
〃 幼稚園卒園式
〃 連合審査会
18日 予算特別委員会(第2日)
19日 小学校卒業式
21日 予算特別委員会(第3日)
25日 総務文教・民生地域常任委員会
〃 小野商工会議所通常総会
27日 3月定例会(第4日)
〃 議員協議会
29日 (仮称)小野市防災センター整備工事安全祈願祭
〃 北播政経懇話会
31日 東播少年剣道大会

【4月】
4日 議員研修会
8日 特別支援学校入学式
〃 中学校入学式
9日 小学校入学式
10日 幼稚園入園式
12日 市場水源地紫外線処理施設完成記念式典
〃 小野市老人クラブ連合会総会
〃 東播・淡路市議会議長会定例会
14日 小野市消防大会
〃 青少年補導委員会総会
17日~22日 リンゼイ市訪問
18日 市議会報編集委員会
〃 北播政経懇話会
23日 小野匠工業会総会
24日 兵庫県市議会議長会総会(尼崎市)
25日 小野市連合区長会総会
26日 近畿市議会議長会定期総会(守山市)
30日 議会運営委員会
〃 市議会報編集委員会

傍聴お待ちしております

6月定例会日程

5月31日(金)(第1日) 10時~
6月20日(木)(第2日) 10時~
6月21日(金)(第3日) 10時~
6月27日(木)(第4日) 13時30分~

定例会の第2日と第3日は、議員の一般質問があります。
議員からは、提出議案の質疑、市政全般にわたる一般質問を行い、これに対して市長や部長等が答弁します。

託児コーナー開設します

6月20日(木)・6月21日(金)

ご希望の方は、6月12日(水)までに議会事務局までお申し込みください。

傍聴者休憩室を開設します

定例会の第2日と第3日は、傍聴の方が休憩していただけるように議場の隣に傍聴者休憩室を開設しています。
セルフサービスのお茶も用意していますので、お気軽にご利用ください。

自宅にいながら議会の傍聴

市議会 LIVE中継 実施中!!

小野市議会のホームページからご覧いただけます。